

平成30年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年11月10日

上場会社名 KeePer技研株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6036 URL <http://www.keepercoating.jp/corp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 谷 好通
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役経営企画本部長（氏名） 滝谷 正史（TEL）0562-45-5258
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年6月期第1四半期の業績（平成29年7月1日～平成29年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	1,750	0.8	209	△14.8	209	△15.3	133	△14.5
29年6月期第1四半期	1,735	8.1	245	11.3	247	11.3	155	12.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年6月期第1四半期	9.47		9.43					
29年6月期第1四半期	10.67		10.62					

（注）当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	5,566		3,918		70.4	
29年6月期	5,789		3,918		67.7	

（参考）自己資本 30年6月期第1四半期 3,918百万円 29年6月期 3,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	19.00	19.00
30年6月期	—				
30年6月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成29年6月期については、当該株式分割前の実際の配当の額を記載しております。

3. 平成30年6月期の業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,149	9.3	772	12.0	772	12.1	486	15.3	34.56
通期	7,784	11.2	1,100	8.4	1,102	8.4	703	8.4	49.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年6月期1Q	14,086,020株	29年6月期	14,086,020株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年6月期1Q	78株	29年6月期	78株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年6月期1Q	14,085,942株	29年6月期1Q	14,615,775株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) P 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日）におけるわが国の経済は、好調な企業業績を背景に緩やかな回復基調が続き、個人消費についても雇用・所得環境の改善から緩やかに持ち直しています。一方、不安定な国際情勢や、原油価格の変動による影響など、経営環境は先行き不透明な状況が続きました。

当社ではこのような環境の中、ユーザーに提供されるKeePerコーティングの品質の維持・向上を従来以上に実現していくことが、当面の業績を向上させるだけでなく、将来に向けての発展を目指したKeePerブランドのブランディングを確実にしていくために最も重要であると考えております。

しかし、当第1四半期においては7月と8月の天候の乱れが続き、特に8月においては観測史上稀に見る連続降雨日が続きました。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は17億50百万円（前年同期比0.8%増加）と微増するも、営業利益は2億9百万円（同14.8%減少）と前年比で減少し、経常利益は2億9百万円（同15.3%減少）四半期純利益は1億33百万円（同14.5%減少）となりました。

①キーパー製品等関連事業

そのような悪条件の中においてもキーパー製品等関連事業におきましては、全国のキーパープロショップを対象にした「キーパー選手権」を平成29年8月に開催しました。選手権には約3,000店が参加して、一つの大きな成功の目安である1,000,000Pをオーバーした店舗が283店舗もあり一定の成功を収めました。

しかしキーパープロショップの多くがガソリンスタンドの形態の中に設けられており、この形態でのキーパープロショップでは、多くがドライブスルーセルフ洗車機や門型洗車によって安価な洗車を大量販売しており、その大量の顧客に対してKeePerコーティングも提案されています。しかし、今期の長引く悪天候によりドライブスルーセルフ洗車や機械洗車を利用する顧客が激減しております。洗車はお車の汚れを落とすサービス商品であり、雨が降っている状況では洗車をしても外に出ればすぐに汚れてしまうので雨が降っている環境で洗車をする人はいません。つまりガソリンスタンドでの販売提案機会が大幅に減少して、KeePerコーティングの販売も全般的に振るいませんでした。

もちろん、キーパープロショップのほぼすべての店舗がキーパーラボと同様な手洗い洗車も実施しており、「雨に強いKeePerコーティング」の特性を活かした販売がされ、壊滅状態は避けられたものの、大量の客数が来店するガソリンスタンドの特性は「記録的な雨」によって大きく減少しました。

9月には一転して好天が続き、洗車を求めるお客様が押し寄せましたが、今度は大量の洗車のお客様をさばくことに手を取られて洗車のみの受注に終わる傾向があつて、かえってKeePer製品の販売の伸びが無くなる皮肉な結果となりました。そのような背景で、キーパー製品等関連事業においては、前年同期比を8.8%下回るような残念な結果となりました。

しかし、キーパープロショップの数は前年同期比で約100店舗増加しており、全国のキーパープロショップの志気も決して衰えておらず、当第1四半期をそれ以降の期間において挽回する勢いが十分にあります。

これらの結果、当セグメントの当第1四半期累計期間における売上高は10億58百万円（前年同期比8.8%減少）、セグメント利益は1億87百万円（同5.7%減少）となりました。ただし、内部取引による利益が38百万円含まれており、内部取引控除後の利益は1億49百万円（同11.3%減少）となります。

②キーパーLABO運営事業

キーパーラボ運営事業においては、同じように長雨に苦しめられたものの、キーパーラボでは洗車を済ませたお客様にキーパー提案するという販売手法を取っておらず、手洗い洗車の販売台数そのものは大きく減少したものの、KeePerコーティングの売れ行きは相変わらずであり、予約のキャンセルもなく堅調に各店舗が販売を伸ばしました。

また、好天に恵まれた9月に入って洗車でのご来店のお客様が俄然増加しました（全店前年比41%増）。この洗車の台数をさばくのに手を取られ高効率のKeePerの受注台当たりの平均単価を大きく落として全体の実績を伸ばせられなかった店舗と、洗車の台数に惑わされず通常の受注に徹して順調に平均単価を維持し大きく売り上げを伸ばした店舗が半々で、明暗が分かれました。

その結果、9月単月では全店前年比で37%増の好成績を上げたものの、会社全体としてはキーパー製品等関連事業の減益分をカバーしきることは出来ませんでした。

これらの結果、当セグメントの当第1四半期累計期間における売上高は6億91百万円（前年同期比20.3%増加）、セグメント利益は60百万円（同22.2%減少）となりました。ただし、内部取引による費用が38百万円含まれております。

また、キーパーラボ新店は、
 29年7月には愛知県春日井市の国道19号線沿いに「キーパーラボ春日井店」。
 29年8月には千葉県のショッピングモール千葉ニュータウン内のホームセンターカインズの敷地に「キーパーラボ千葉ニュータウン店」。
 29年8月には福岡県久留米市の九州自動車道久留米インター脇に、「キーパーラボ久留米店」と「福岡トレーニングセンター・営業所」の併設店がオープンしました。

キーパーラボの新店は今期中に24店舗開店すると公言しています。しかし当第1四半期においては3店舗のオープンにとどまりご心配をおかけしておりますが、新店24店舗開発の準備は着々と進んでおり、別表のように物件開発はすでにオープンした店舗も入れて20店舗の開発準備が進んでおります。プラン作り、製図、申請、建築の段階でいずれかの途中であり、また以前にも増して紹介物件の数のペースが増えており、当期中に24店舗開発のペースは動かないものとして進めております。

今後の今期中の新店予定

(11月までの新規出店状況)

開店時期	店名	所在地
平成29年7月	春日井店	愛知県春日井市瑞徳通8丁目14-1
平成29年8月	千葉ニュータウン店	千葉県印西市泉野1丁目144-6 (カインズモール千葉ニュータウン店 敷地内)
	久留米店	福岡県久留米市御井旗崎1丁目2-22
平成29年10月	トレッサ横浜店	神奈川県横浜市港北区師岡町700番地 (トレッサ横浜 南棟 施設内)
平成29年11月	広島長楽寺店	広島県広島市安佐南区長楽寺1-3-11
	綱島店	神奈川県横浜市港北区高田東1-46-3
	松戸店(改装店)	千葉県松戸市小金きよしヶ丘4-3-5

(12月以降の出店予定、計画)

開店時期	店名	県名または所在地
平成29年12月	小牧山店	愛知県
	新・安城店(リプレース店)	愛知県安城市大東町87番地
平成30年2月	246玉川店	神奈川県
	相模原相生店	神奈川県
	江南店	愛知県
	八王子店(改装店)	東京都八王子市左入町749-1
平成30年3月	蕨店	埼玉県
	仙台泉店	宮城県
	可児店	岐阜県

平成30年4月	唐木田店	東京都
	三郷店	埼玉県
	豊橋店	愛知県
	鶴見店	大阪府
平成30年5月	葛飾店	東京都
	こどもの国店	神奈川県
平成30年6月	名和北店	愛知県
年度合計店舗数	新店20店、リブレース店1店、改装店2店	

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2億23百万円減少し、55億66百万円となりました。これは主として、現金及び預金が3億54百万円減少、新規出店等により有形固定資産が1億28百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ2億23百万円減少し、16億47百万円となりました。これは主として、未払法人税等が1億28百万円減少、長期借入金が72百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ0百万円減少し、39億18百万円となりました。これは主として利益剰余金が四半期純利益により1億33百万円増加した一方で、配当により1億33百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の業績予想につきましては、平成29年8月10日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,468,608	1,114,076
受取手形	163,880	177,665
売掛金	574,381	559,797
商品	505,188	487,744
貯蔵品	26,687	27,339
前払費用	99,369	92,794
繰延税金資産	36,372	33,665
その他	7,900	3,330
貸倒引当金	△520	△443
流動資産合計	2,881,868	2,495,972
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,472,507	1,610,029
構築物（純額）	103,836	112,820
機械及び装置（純額）	74,774	76,132
車両運搬具（純額）	24,670	27,113
工具、器具及び備品（純額）	96,889	100,626
土地	459,729	459,729
建設仮勘定	31,091	5,149
有形固定資産合計	2,263,500	2,391,600
無形固定資産		
のれん	650	325
ソフトウェア	41,990	50,681
その他	26,246	22,432
無形固定資産合計	68,887	73,439
投資その他の資産		
投資有価証券	16,360	16,800
長期前払費用	36,750	35,716
敷金及び保証金	227,423	256,793
建設協力金	158,545	155,614
保険積立金	13,499	13,499
繰延税金資産	122,790	126,703
その他	20	20
投資その他の資産合計	575,389	605,147
固定資産合計	2,907,777	3,070,187
資産合計	5,789,645	5,566,160

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	200,036	139,445
1年内返済予定の長期借入金	381,277	356,581
未払金	157,051	135,215
未払法人税等	218,023	89,558
未払費用	142,635	124,542
賞与引当金	19,432	77,729
その他	51,771	72,908
流動負債合計	1,170,226	995,981
固定負債		
長期借入金	229,585	157,276
退職給付引当金	164,424	172,933
役員退職慰労引当金	227,967	231,631
資産除去債務	74,933	85,962
その他	4,043	4,043
固定負債合計	700,953	651,846
負債合計	1,871,180	1,647,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,345,163	1,345,163
資本剰余金	1,007,224	1,007,224
利益剰余金	1,565,121	1,564,682
自己株式	△61	△61
株主資本合計	3,917,447	3,917,008
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,017	1,323
評価・換算差額等合計	1,017	1,323
純資産合計	3,918,465	3,918,332
負債純資産合計	5,789,645	5,566,160

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,735,655	1,750,314
売上原価	539,710	480,568
売上総利益	1,195,944	1,269,746
販売費及び一般管理費	950,098	1,060,231
営業利益	245,845	209,514
営業外収益		
受取利息	140	213
為替差益	2,018	—
受取手数料	434	806
その他	795	314
営業外収益合計	3,388	1,334
営業外費用		
支払利息	1,446	1,062
為替差損	—	37
その他	13	—
営業外費用合計	1,459	1,100
経常利益	247,775	209,748
特別利益		
固定資産売却益	69	55
特別利益合計	69	55
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
退職給付費用	12,783	—
特別損失合計	12,783	—
税引前四半期純利益	235,061	209,804
法人税、住民税及び事業税	92,519	77,767
法人税等調整額	△13,448	△1,340
法人税等合計	79,070	76,427
四半期純利益	155,990	133,376

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第 1 四半期累計期間 (自 平成28年 7 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,160,624	575,030	1,735,655
セグメント間の内部売上高又は振替高	50,339	—	50,339
計	1,210,964	575,030	1,785,994
セグメント利益	198,464	77,513	275,978

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	275,978
セグメント間取引消去	△30,132
四半期損益計算書の営業利益	245,845

(注) セグメント間の内部売上高50,339千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。キーパー製品等関連事業のセグメント利益198,464千円には、セグメント間の内部売上高による利益30,132千円を含んでおります。

当第 1 四半期累計期間 (自 平成29年 7 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,058,603	691,710	1,750,314
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,026	—	63,026
計	1,121,629	691,710	1,813,340
セグメント利益	187,247	60,283	247,531

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	247,531
セグメント間取引消去	△38,016
四半期損益計算書の営業利益	209,514

(注) セグメント間の内部売上高63,026千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。キーパー製品等関連事業のセグメント利益187,247千円には、セグメント間の内部売上高による利益38,016千円を含んでおります。